



一人ひとりの学びを大切にする希望のある学校

2020 MIHARU JUNIOR HIGH SCHOOL MANAGEMENT GRAND DESIGN

生徒の実態

- ・概ね全国レベルの学力です。
- ・仲間と学び合う協働的な学習が身についています。仲間との支え合いもできます。
- ・お互いの個性を尊重し、認め合い学校生活を送ることができます。
- ・基本的生活習慣が身につく、思いやりのある学校生活を送っています。
- ・学校行事に意欲的に取り組み、自主的な活動を行うことができます。
- ・自分のよい点に自信をもたせるのが課題です。

実践目標

- 自尊感情「命の輝き」をもつ生徒の育成
個に応じたきめ細かな指導
- 教室に「学び合い」「高め合い」関係の構築
自己有用感を高め「生きる喜び」を育てる
- 実践力を養い「学びに向かう力」の育成
「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 社会での役割と自分らしい生き方
生き抜く力を育む「キャリア教育」
- 自立する力を育てる特別支援教育
障がいとともに社会で自立できる力を育てる
- 食習慣の形成と体力の向上・維持増進
食育と健康教育の充実

学校を支える「共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに」

- ・命のかけがえのなさを根底に、こころ豊かにたくましく生き抜く力をもち生徒を育成します。
- ・教科教室型の学校運営を積極的に推進し、個に応じた教育を実践します。
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「子どもと教師の夢が共に育つ学校づくり」をめざします。
- ・学力調査等の結果や学校評価等を生かし、学校運営協議会と共に学校運営にあたります。
- ・教師と保護者がそれぞれの責任を自覚し、信頼感と連帯感を築きます。

こんな三春中をめざします

忠恕

うるわしい心をもつ生徒

充実感のある学校生活

- 「学校生活が楽しい」生徒が95%以上
- 「学校行事が楽しい」生徒が95%以上
- 「自分自身を大切にし、思いやりを感じる」生徒が95%以上
- ・自主的・自治的な生徒主体の生徒会活動
- ・体験活動を積極的に導入し、満足度のある学校生活
- ・互恵関係をめざした特別支援教育の充実



探究

夢にむかって学び続ける生徒

個性を生かす教育の実現

- 全国学力学習状況調査・ふくしま学力調査で全ての教科が全国・県平均を上回る
- 「授業に主体的に取り組む」生徒が95%以上
- ・「何が身につく、何ができるようになったか」生徒自身が分かる授業の実践
- ・教科教室の特長を生かした学習環境の充実



必達

心身を鍛え未来を切り拓く生徒

たくましい心と体

- 新体力テストにおけるA・B判定を男子45%・女子60%以上
- 朝食摂取率100%・歯科受診率40%以上
- 「他の部員と協力して部活動に前向きに取り組む」生徒が90%以上
- ・家庭と学校とが連携・協力して取り組む食育の推進
- ・給食を通じた「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」の育成
- ・目標達成集団としての部活動経営

生徒は

- 互いのよさを認め合える学級、学校をめざします

- ・常識と命の大切さをベースに、よりよい人間関係を築きます
- ・自分で情報を収集し、主体的に判断し行動します
- ・自分の考えや意見をもち、表現する活動から、仲間と「聴き合い」「学び合い」の関係を積極的に築きます
- ・インクルーシブ社会の実現をめざします

教職員は

- 生徒の「自立心」や「実践力」を育みます

- ・教師はよく「聴き」、生徒の発言を丸ごと尊重し、受け止めます
- ・心に響き、実践につながる「考え、議論する道徳」をめざします
- ・情報の出し方を工夫し、主体的に生活できるよう支援します
- ・学びの場への「移動」の意味を大切に指導します
- ・互恵的交流及び共同学習を推進します

生徒は

- 教科のよさを満喫し、共同的な学習に取り組めます

- ・自分のキャリアを見出し、「生き方」を真剣に考え、自他と「対話」し協同して学ぶことを大切に、自分の未来づくりに取り組みます
- ・「聴き合い、学び合い」の関係から、互いに支え合い、高め合える関係をつくりまします
- ・「学び方」を学び、家庭学習の充実に取り組みます

教職員は

- 教科教室の特長をいかし、「主体的・対話的で深い学び」を生み出します

- ・教師が「聴く」ことを大切に、生徒の学びをみることを大切にします。
- ・授業の実態から、振り返りをよくして授業デザイン力を高めまします
- ・本校の実態に即し、教科等横断的に課題解決型の学習を促します

生徒は

- 健康に関心をもち、望ましい生活習慣を身につけます

- ・摂取と消費のバランスを意識しながら、健康な体づくりにつなげます
- ・食育から学び、望ましい食生活の習慣づくりにつなげます
- ・「食に関する授業」で学習したことを家庭につなぎ、生徒の「今」、そして、「未来」につなげます
- ・仲間と切磋琢磨しながら、目標にむけて体育・部活動に精一杯取り組みます

教職員は

- 健康に関する指導を充実させます

- ・「食育」の指導を充実させ、心身の健康、体力の保持・増進を図ります
- ・小中合同学校保健委員会を開催し、継続的に健康管理に努めます
- ・家庭を巻き込んだ食習慣の形成を図ります
- ・「自分手帳」を活用し、健康・体力の情報を提供します
- ・生徒の生き方を考えさせる部活動指導に努めます

学校生活では

- 人としての常識や思いやりを大切にした学校生活
- 自ら判断し行動し結果に責任をもつ人間の育成

教科学習では

- 教科教室を生かした主体的に学ぶことのできる学習環境
- 「協働的な学び」を生み出す「聴き合い」「学び合い」関係の醸成

道徳教育では

- 多様な価値を受容し、他者と対話しながら自他ともによりよい選択・判断ができる「考え、議論する道徳」

総合的な学習の時間では

- 教科等横断的なカリキュラムマネジメント
- 「体験から学ぶ」視点を明確にした総合的な学習の時間

キャリア教育では

- 「生き方学習」のもと「学びに向かう力・人間性等」の育成
- キャリア向上のための「生き抜く力」の育成

インクルーシブ社会の実現にむけ

- 自立的な生活を営む力の育成
- 互恵的交流及び共同学習
- 保護者との教育相談の充実
- 社会性、生活力を育む通級の充実

情報教育では

- 情報学習の成果を活用したメディアリテラシーの育成
- 「999」のスローガンのもとトラブルを未然防止できる生徒の育成

放射線教育の推進

- 放射線の正しい知識と福島の今の課題を解決できる学習活動
- 県環境創造センターとの連携

つながる食育推進事業

- 生徒の「今」そして「未来」につなげる系統的・関連的な食育指導
- 身体運動プログラムの実践と家庭との連携

活動に「目標」と「意欲付け」2学期制 ～じっくり向き合う生徒と教師～

1学期（98日）				2学期（1・2年 108日/3年 101日）			
春休み	第Ⅰ期 出会い・決意期 4/6	第Ⅱ期 努力・熱中期 4/28	夏休み	第Ⅲ期 挑戦・向上期 8/25	第Ⅳ期 感動・継承期 10/12	第Ⅴ期 夢作り・感謝期 12/23	春休み
	4/6	4/28	4/30	7/21	8/25	10/9	10/12

各教科等年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語	道徳	総合学習	学級活動	標準時数	本校時数
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	56	35	1015	1021
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	72	35	1015	1017
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	71	36	1015	1016

年間授業日数

	1・2学年	3学年
1学期	98日	98日
2学期	108日	101日
計	206日	199日

日課表

8 10	8 25	8 30	9 20	9 30	10 20	10 30	11 25	11 35	12 00	13 00	13 45	14 35	14 45	15 35	15 40	16 55	16 00	18 15
登校	読書生活	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	昼休み	5校時	6校時	清掃	学活	生徒活動	下校					

部活動

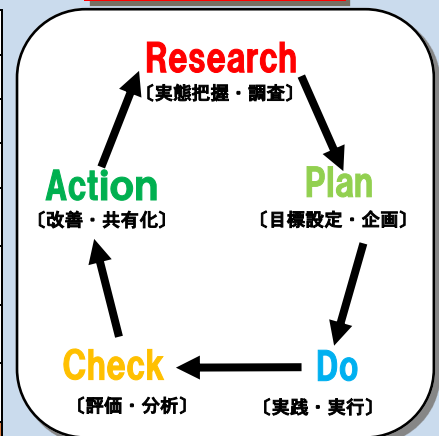
常設部		特設部
野球部	男女バレーボール部	特設陸上競技部
ソフトボール部	男女バスケット部	特設駅伝部
陸上競技部	剣道部	特設水泳部
サッカー部	美術部	特設合唱部
男女ソフトテニス部	吹奏楽部	特設英語弁論部
男女卓球部	合唱部	特設柔道部

学級編制

※「桜の木」は再掲

クラス	1年	2年	3年	
1組	31	34	29	
2組	30	34	27	
3組	31	34	27	
梅の木(知的)	1	5	5	梅の木計 11
桃の木(情緒)	3	4	5	桃の木計 12
桜の木(通級)	7	8	7	桜の木計 20
学年計	96	111	93	
全生徒数	300	男子 157	女子 143	

RPDCAサイクル



年間3回生徒アンケートを実施し、常にリサーチして学校評価サイクルに生かしていきます。